

南区味方健康センター、老人デイサービスセンター味方 指定管理者事業計画総括表

南区健康福祉課

項目	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会(選定者)																								
事業者の概要	<p>○代表者 会長 関 昭一</p> <p>○設立 昭和31年3月29日</p> <p>○雇用人数 2,151人(正職員219人 嘱託561人 臨時及びパート1,369人 派遣2人)</p> <p>○事業内容 ・地域在宅福祉活動推進・ボランティア活動推進・福祉教育の推進・情報、相談及び広報活動の推進・資金貸付 ・介護保険事業・イベント・障がい者自立支援事業・各種福祉事業</p>																								
1 申請の動機	<p>少子高齢化の進展、地域社会や家族の変化に伴い、現行制度では対応が困難な生活課題を持つ利用者に対して、これまで培った経験、情報、人材を活かしながら、本会地域福祉部門や他専門機関と連携して、地域包括システムの一翼を積極的に担う必要があると考えています。</p> <p>デイサービス等の介護事業で得た利益を地域福祉活動事業にさらに還元し、身近なところで家族からの支援を受けることが難しい人が増加する中、一人でも多くの人が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域に根差した福祉・介護サービスを提供し、地域ニーズに応えることができると判断し、南区味方健康センター及び老人デイサービスセンター味方の指定管理者の申請をいたしました。</p>																								
2 運営理念・基本方針	<p>利用者の抱える生活課題や個別ニーズに対応するため、本会の持つ情報や人材等の資源を活かし、本会の地域福祉部門とのさらなる連携強化を行い、一体的な支援を行います。また、要介護度の高い人を在宅で支えるため、専門性の向上、医療との連携等により、質の高いサービスを提供し、生活支援サービスの拡充を図るため、「住み慣れた地域での暮らしを支える在宅サービスの推進」を介護事業の基本目標として掲げていきます。</p>																								
3 経費節減の取り組み	<p>法人全体としてのスケールメリットを最大限活かしながら、環境に配慮した取り組みで経費の節減を図ります。</p> <p>コストダウンの意識を統一し、個人の光熱費節約への意識度を高め省エネに関心を持って業務に取り組むほか、食材費についても地産地消を主とし地元農家より旬の野菜を購入することで、格安で新鮮な食材で昼食を提供します。</p>																								
4 サービスの向上に向けた取り組み	<p>サービス提供の根幹を『人として当たりまえの権利を守る』とし、人権擁護について法人全体研修や職員会議内での研修を通じ資質向上に向け取り組んでいきます。</p> <p>内部研修として、業務マニュアルの読み合わせ、各種ケアの見直しを行い、職員の意識向上とスキルアップを図るとともに、利用者・家族の視線に立ってサービス目標設定シートを作成、定期的な振り返り、新たな課題発掘の対応策を繰り返し行いサービスの向上を図ります。</p>																								
5 要望・苦情等への対応	<p>苦情受付窓口を設置のほか、苦情解決責任者(法人本部事務局長)等の第三者委員を配置します。</p> <p>苦情を「改善の機会」と捉え、その都度、改善策を講じ、苦情の原因となる要素を取り除くとともに、苦情の内容や対応策を記録として残し、職員会議等で周知し、より良いサービスの提供に利用者の声が反映できるよう努めていきます。</p> <p>要望への対応としては、定期的にアンケートを実施し、意見や要望を見逃さず業務の改善に繋げられるよう努めていきます。</p>																								
6 利用者家族との連携	<p>緊急連絡先を確認し、その後は定期的に行われる担当者会議の際に再確認を行うなど、家族の連絡先を確実に把握し、利用中に体調の変化があった場合に即座に初期対応に努め、安心してサービスを利用できる環境作りを行っていきます。</p> <p>また、常時、家族へデイサービスで過ごしている様子を写真入りで連絡帳に記載し、通所時及び帰宅時の送迎の際に、家族との情報交換を行い、また、連絡帳を通し自宅での利用者の様子や体調などの情報を得て、その日がより快適に過ごせるようなサービスの提供に努めていきます。</p>																								
7 地域や関係機関との連携	<p>地域ボランティアとして、地域高齢者自らが能動的に地域で活躍、社会参加する機関として高齢者ボランティアの元気力アップサポーター受入を実施し、生活意欲向上と介護予防効果を図っていきます。</p> <p>また、保育園、学校等のつながりを深め、「福祉教育」や「福祉人材の育成」につながる活動を行うほか、隣接する老人福祉センターと合同避難訓練、健康センターも防火上の管理を行うなど地域住民、団体との連携を重視した事業を行っていきます。</p>																								
8 申請者の実績	<p>○主な施設管理実績</p> <p>・新潟市総合福祉会館・老人福祉センター黒埼荘・小須戸老人福祉センター・老人デイサービスセンター潟東・老人デイサービスセンター巻</p> <p>・北区豊栄健康センター・豊栄さわやか老人福祉センター・西川高齢者ふれあいセンターなど</p>																								
9 職員配置・勤務体制	<p>利用定員：35人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">職種</th> <th style="width: 50%;">雇用形態等</th> <th style="width: 10%;">人数</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設管理者</td> <td>常勤・兼務</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活相談員</td> <td>常勤・兼務3人</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護職員</td> <td>常勤・兼務3人 / 非常勤・兼務1人</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員</td> <td>常勤・兼務3人 / 非常勤・兼務1人</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護職員</td> <td>常勤・専従6人 / 常勤・兼務4人 / 非常勤・専従1人 / 非常勤・兼務2人</td> <td>13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	職種	雇用形態等	人数	備考	施設管理者	常勤・兼務	1		生活相談員	常勤・兼務3人	3		看護職員	常勤・兼務3人 / 非常勤・兼務1人	4		機能訓練指導員	常勤・兼務3人 / 非常勤・兼務1人	4		介護職員	常勤・専従6人 / 常勤・兼務4人 / 非常勤・専従1人 / 非常勤・兼務2人	13	
職種	雇用形態等	人数	備考																						
施設管理者	常勤・兼務	1																							
生活相談員	常勤・兼務3人	3																							
看護職員	常勤・兼務3人 / 非常勤・兼務1人	4																							
機能訓練指導員	常勤・兼務3人 / 非常勤・兼務1人	4																							
介護職員	常勤・専従6人 / 常勤・兼務4人 / 非常勤・専従1人 / 非常勤・兼務2人	13																							
10 職員の資質向上の取り組み	<p>職員資質向上を図る研修体制を確立させ、月1回の運営会議における企画力、改善力を養い、質の高いサービスを提供し、研修指導が行える人材育成を目的として、内部講師養成プロジェクトを立ち上げ、法人内部でも質の高い研修ができる体制を確立します。</p> <p>また、各区に介護事業統括管理者を配置し、区内の事業所の指導、助言などにより身近にサポートできる体制を整え、職員の資質の向上に努めます。</p>																								
11 事故防止・緊急時の対応	<p>共通マニュアルを整備し、研修や訓練を行い、全職員に周知し、常に迅速で適切な対応ができるよう準備し、日頃よりリスクマネジメントを実施し、日常的な事故防止対策としてヒヤリハット等を随時実施するなど、職員間の意識の向上と事故防止対策を図る体制整備を行います。また、定期的な地震想定避難訓練を実施するほか、平成24年より福祉避難所として指定され、災害時に備え非常食等完備されています。</p>																								
12 利用者の健康及び衛生管理	<p>健康管理の取り組みとして、歯科衛生士による口腔内モニタリングや口腔清掃の指導をはじめ、食事量、水分量の観察など利用者の主治医との連携により実施します。</p> <p>また、衛生管理では、感染症や食中毒等への対策を行うほか、厨房設備では、「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づき実施する。感染症対策として施設は集団で生活をする場のため感染が広がりやすい環境であることを職員は常に認識しておき、職員が日常から衛生管理に最大限の注意を払うとともに、ベッドカバー類やタオル、トイレ、洗面所などにおいて汚染時は即時対応をし、利用者の感染症の拡大を防ぐ等マニュアルを遵守し日常的な対応を図ります。</p>																								
13 個人情報の保護	<p>厚生労働省のガイドラインに基づき、「個人情報保護規程」及び「個人情報保護規程実施要綱」、「個人情報保護事務取扱要領」を整備しています。職員に対しては、本会の方針(プライバシーポリシー)を明示し、マニュアルや様式を整備した上で周知、適正な個人情報の取り扱いについて徹底、また、採用時に、「守秘義務に関する契約書」を交わし、説明を行い、在職中のみならず退職後も個人情報の保護ができる体制を整えています。全職員に対しては、年間で計画的に研修を行い、個人情報の保護に努めていきます。</p>																								
14 収支計算書(平成27年度)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">【収入】</th> <th style="width: 50%;">【支出】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用料金 76,640千円</td> <td>人件費 52,369千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入 20千円</td> <td>事業費 13,483千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費・その他 1,610千円</td> </tr> <tr> <td>計 76,660千円</td> <td>計 67,462千円</td> </tr> </tbody> </table>	【収入】	【支出】	利用料金 76,640千円	人件費 52,369千円	その他収入 20千円	事業費 13,483千円		事務費・その他 1,610千円	計 76,660千円	計 67,462千円														
【収入】	【支出】																								
利用料金 76,640千円	人件費 52,369千円																								
その他収入 20千円	事業費 13,483千円																								
	事務費・その他 1,610千円																								
計 76,660千円	計 67,462千円																								